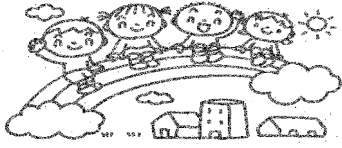


# かがやけ松が丘っ子



～自然大好き 友だち大好き 遊び大好き～

令和2年1月24日発行

三田市立松が丘幼稚園

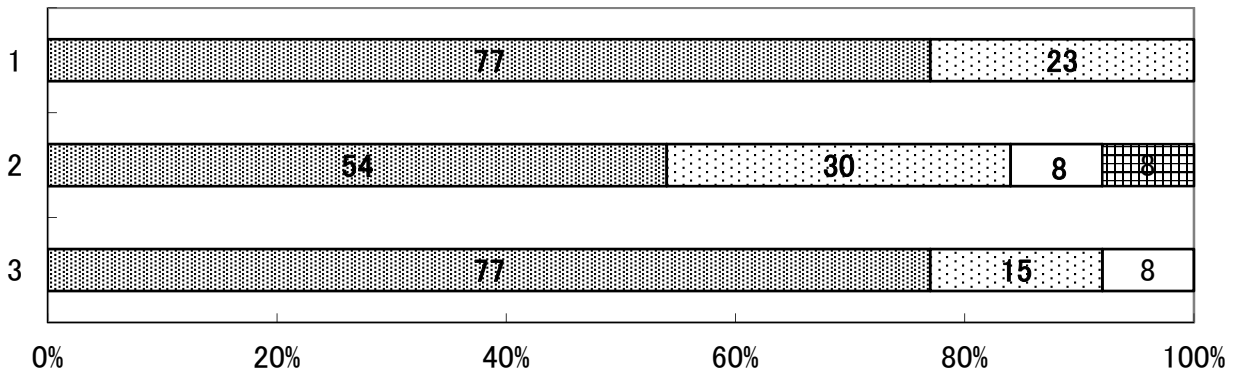
## 学校評価アンケートのご協力ありがとうございました

今年度の幼稚園の取り組みについて、アンケートにご協力いただきありがとうございました。結果について公表させていただきますとともに、評価結果を真摯に受け止め、今後の取り組みに活かしてまいりたいと思います。

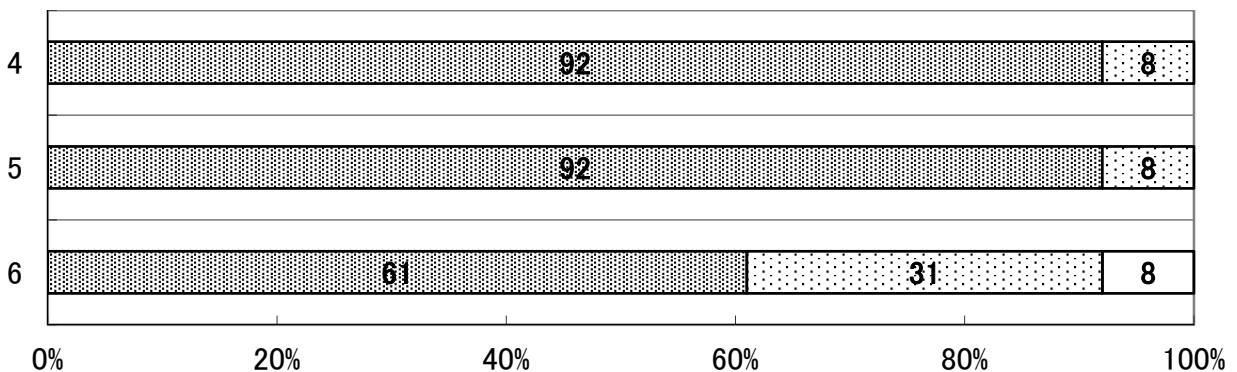
【表の見方】 3項目ごとにグラフにしています。

A : そう思う  B : だいたいそう思う  C : あまり思わない  D : 思わない 

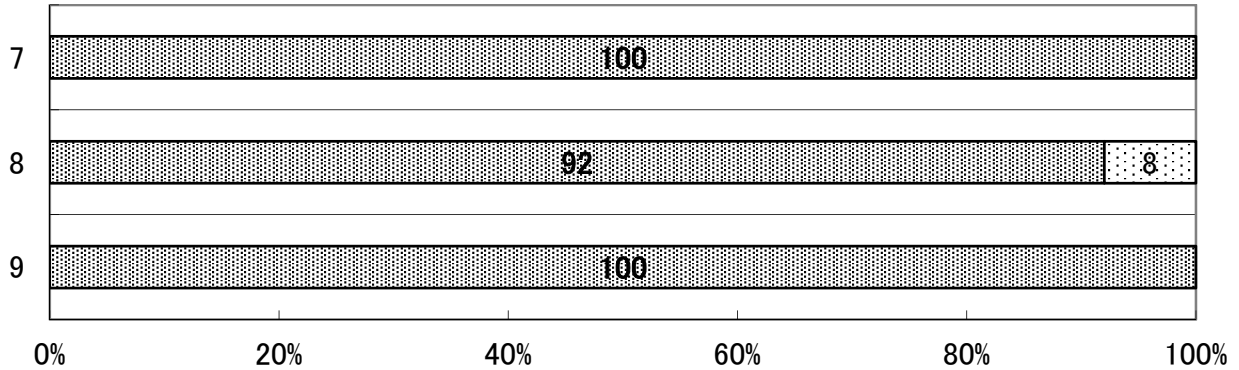
1. 子どもは、幼稚園に行くのを楽しみにしている。
2. 子どもは、友だちや先生、その他親しい人に対して気持ちよくあいさつをしている。
3. 子どもは、主体性を意識した園の取り組みを通して、よく考えたり、自分から幼稚園の話をしたり尋ねたりするようになったと感じる。



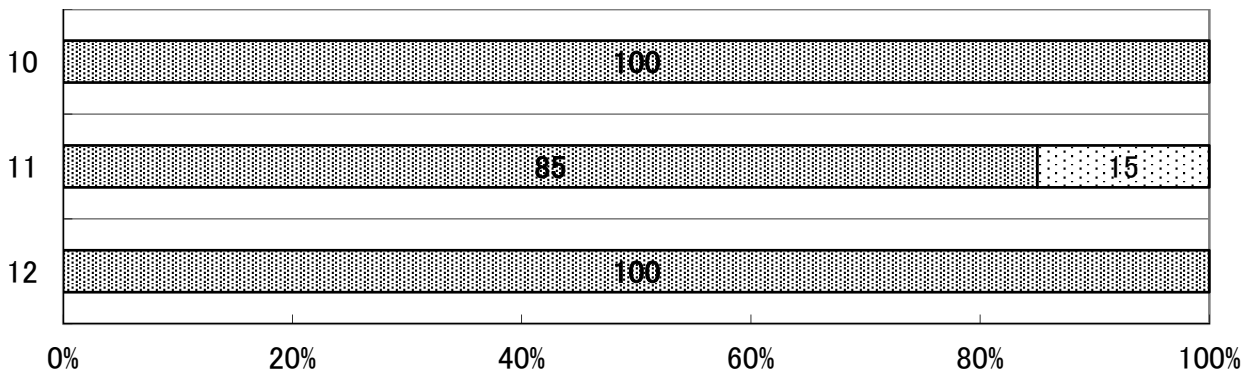
4. 子どもは、4, 5 歳児（年少、年長）との交流活動を通して、楽しみにしたり、成長したりしていると感じる。
5. 子どもは、わくわく体操や様々な体を使った遊びを通して、体を動かして遊ぶことが好きになったように感じる。
6. 園での絵本の読み聞かせ活動や絵本貸し出しなどを通して、親子で絵本に親しむ機会となった。



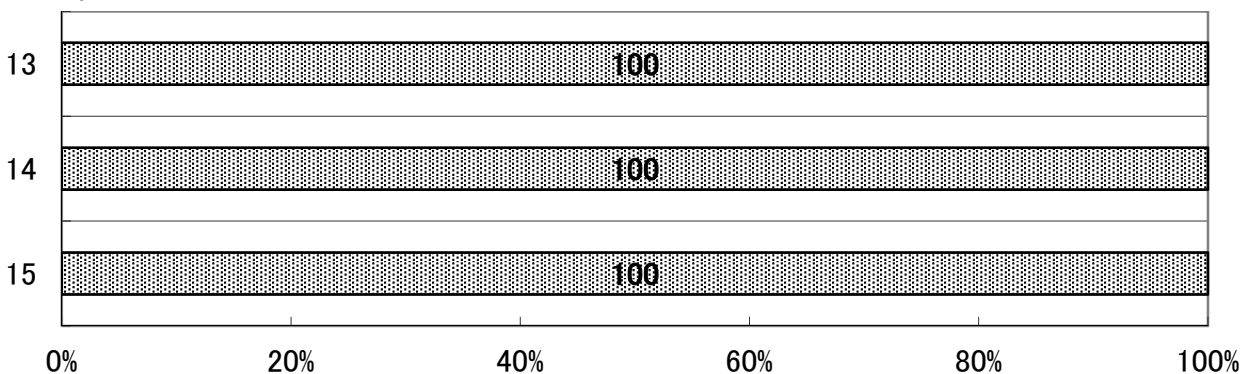
- 7. 園での様々な遊びや取り組みの中で、子どもが自ら意欲的に取り組んだり、挑戦したりするようになったと感じる。
- 8. 園は、わくわく体操や様々な体を動かす経験ができる遊びの場づくりを工夫している。
- 9. 園は、4, 5 歳児、小学校、地域など、様々な人とのかかわりを大切にした保育を進めている。



- 10. 園は、小学校との交流を通して、小学校生活に対してのあこがれや期待感をもたせるようにしている。(年長保護者のみ回答)
- 11. 預かり保育は、利用しやすく安心して子どもを預けることができる。
- 12. 園は、子育て支援事業（園庭開放、すくすく、未就園児交流）など、親子同士がかかわれる場の提供を行っている。



- 13. 園は、一人一人の子どものよさや成長の様子をよく理解して指導にあたっている。
- 14. 園は、子どもの育ちや課題を保護者に伝え、家庭と連携して園教育をすすめている。
- 15. 園は、幼稚園の情報（子どもの様子）を通信や降園時等を通じて、わかりやすく保護者に伝えている。



## その他の意見

○野菜を育てるところから、収穫、そして園で作っていただいたサラダを食べて、ほとんどの野菜を食べるようになりました。食育のおかげです。ありがとうございます。

【園より】

年長児は、昨年度の経験をよく覚えていて、野菜の苗購入計画から土づくり、栽培、クッキングなどを楽しみにしています。そのため、子ども達が主体となって自分たちで調べたり、世話をしたり、年少児に教えてあげたりする体験を大切にしています。自分たちで思いを込めて大切に育てた野菜は、とても美味しいようです。

## アンケート結果から今後に向けて

園の教育方針や具体的な取り組みについて、子どもの育っている姿と照らし合わせて高い評価をいただいていることは大変嬉しく思います。この結果を踏まえ、学校関係者評価委員会の中で評価をいただき、今後の教育活動の充実につなげていきたいと考えます。

○挨拶については、一人一人の性格やその時の気分も重なり、いつでもできるとは限りません。ですが、気持ちの良い挨拶は、社会性や積極性などにもつながる大切な習慣として、身につけたいと思います。入園当初の姿を思い返すと、それぞれに挨拶の声が大きくなっているように感じていますので、引き続き、気持ちの良い挨拶を心がけていきます。

○“主体性”を意識した園の取り組みについて、子どもがよく考えたり、自分から園での話をしたり尋ねたりするようになるためには、園での遊びや生活が子どもにとって、心から楽しめるものでなければならないと思います。今後も、子どもが自ら動き出す力が育つような取り組みの工夫に努めます。

○今年度は、絵本の整理に取り組み、保護者の皆様にもお力をお借りしました。ありがとうございました。また、毎週金曜日の絵本貸し出しを利用される方も増え、一人一人の図書カードを作ったことで、絵本の貸し出し履歴が分かるようになりました。ぜひ、親子で絵本を楽しむ時間が多くもてますようにご活用ください。

○「わくわく体操」をはじめとした様々な体づくりの取り組みにおいて、体を動かして遊ぶ場づくりの工夫により、子ども達が積極的に体を動かして遊ぶ場面が多く見られました。今年度は、年長児全員が逆上がりができるようになり、子どものやる気と粘り強さに驚かされました。

○子育て支援事業（園庭開放、すくすく、未就園児交流）などの取り組みについては、親子同士が親しく集える場となるように内容の工夫や地域への情報提供に努めていきます。

また、日々の降園後の遊び場の提供は、たくさんの方が残って遊んだり、おしゃべりを楽しんだりしておられ、とても大切なつながりの時間ではないかと思っておりますので、合わせて地域へも発信していきたいと思っております。

○今後も一人一人の子どもの良さや成長と向き合い、指導することに努めていきます。また、家庭との連携においては、信頼関係づくりと相互理解に努めながら進めていきます。